

宍粟市 黒尾山 北西山麓 野々隅原 大国牧場 Walk 2009.6.21、



宍粟市 黒尾山 北西山麓 野々隅原 大国牧場に咲くジキタリスの花園 2009.6.21.

6月20日 家内の友人から 奥播磨 中国道山崎 IC 北の奥播磨の山中の牧草地全面にピンクのジキタリスの咲き乱れる秘密の花園「大国牧場」を訪れたと写真とともにメールを戴いた。 車一台がやっと通れる溪谷沿いの狭い道を山の奥へ奥へと遡って、その道の尽きた山中に牧場の入口だったという。

ジキタリスの群落のみごとさに家内と二人 飛びつきました。

「奥播磨山崎の山中にある牧場といえば、たたら跡に違いない」。

「大国牧場」の名前と山奥の道が切れるところが手がかりに、インターネット検索と国土地理院の地図とにらめっこ。

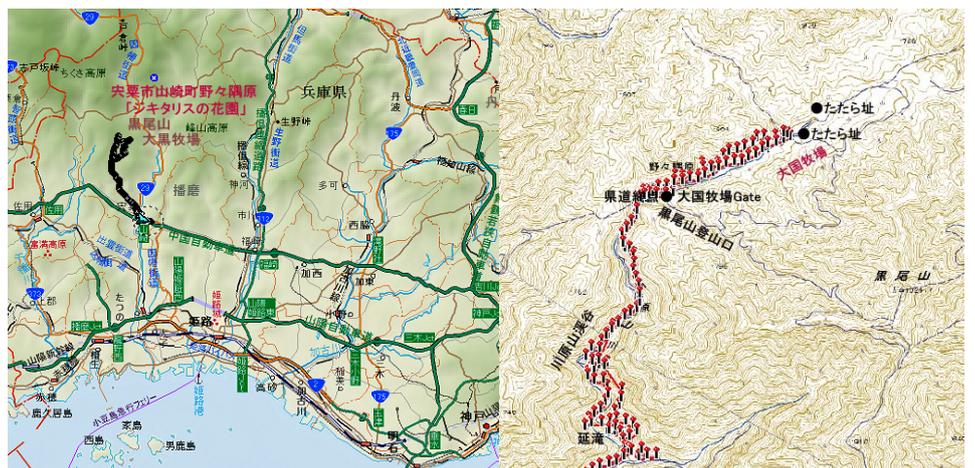
山崎の町の北側の山中 川原山溪谷を遡る黒尾山（標高 1025m）北西山麓の標高約 650~700m の野々隅原にある大国牧場を見つけました。やはり、山深い山の稜線を沿うように、中腹に細長い原が不自然に広がっている。

同じような地形はたたら製鉄が盛んだった中国山地の各地にみられ、山を崩して砂鉄を採った跡地を牧場や棚田に利用されると共に、今は

自然とマッチした独特の景観を呈している所が多い。この野々隅原から東北方向に少し離れた砥峰高原も同じような地形で、秋一面にススキが咲く素晴らしい景観地としてよく知られている。

この山深い山中の野々隅原には今はこの大国牧場があるだけで、ほかに住人はいないという。

標高 1025m 黒尾山に登る人たちの登山口で、この時期 黒尾山に登る地元ハイカーたちが、この野々隅原の牧場に来て、偶然 牧草地全体に広がるジキタリスにビック



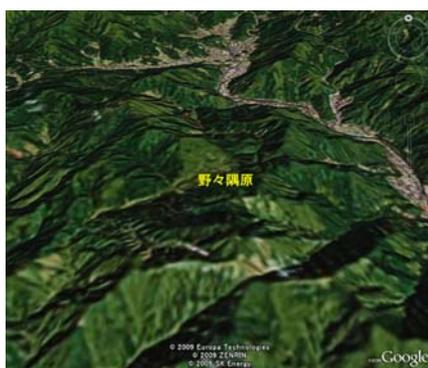
り。口コミで地元のハイカーを中心に知る人ぞ知る秘密の花園になっているという。

土地理院の地図を見ると確かに四方を山に囲まれた黒尾山の北西斜面側の等高線が緩やかになっていて、ここだけが広い野原。

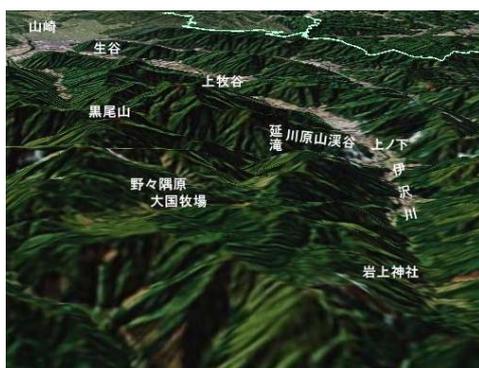
この野々隅原にはかつて近世のたたら跡が2つ確認されていることや砂鉄採取などで山の稜線に沿って山腹を崩したたたら跡にみられるカール状・すり鉢状にえぐりつたような地形の痕跡が地図上に等高線の詰まった山中に細長く等高線の荒い「平地・原」となって見える。牧場や棚田として転用されてきた所が多いのですが、この野々隅原でも開拓地として、牧草地などに転用されてきたようだ。

Google Earth の3D衛星画像の拡大で確認すると、地形的にこの野々隅原が周りとは不自然に山の中腹にカール状というかすり鉢上の野原として存在しているのがわかる。そして、このすり鉢状地形の牧草地にジキタリスのピンクの花が大群落をつくり、今その花盛りだという。

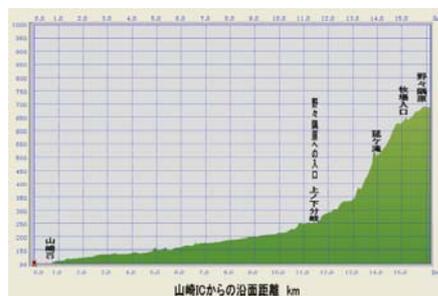
この地の西 同じような砂鉄採取跡がカール状の地形を形成している峰砥高原も関西一のスキの原の観光地として有名であるが、たたら跡が「ジキタリスの花の景観」を呈していると聞くのは初めてである。



南側より 野々隅原を鳥瞰



北側より 野々隅原を鳥瞰



平地部山崎 IC→野々原沿面距離と標高

Google earth 3D衛星画像で見る野々隅原



黒尾山の西山麓 静かな森の中 木々につつまれて 野々隅原 大國牧場 2009. 6. 21.

◆ 6月21日午後 ジキタリスの花園 野々隅原 大國牧場へ 花のwalk

家内の興味はジキタリスの花園 私はジキタリスの花園も見たいのですが、牧場となったたたら跡と考えられる野々隅原の地形。どんな形でたたら跡がいきているのか???である。ジキタリスの花園もたたら跡であったため、山中奥深い山の中腹の牧場であったため、開発などから逃れ、秘密の花園として残ったと思われる。とにかく 是非その景観を見たい。

出来ればジキタリスの花が咲いている時に行きたいが、梅雨空 道は悪いという。

梅雨の雨が上がった日曜日の午後 この梅雨の晴れ間に見に行こうと高速道路を走らせて 野々隅原を訪ねました。



ジキタリスの花園 野々隅原 大國牧場 2009. 6. 21.

たたら跡を訪ねて奥播磨の山中へは随分出かけましたが、この黒尾山・野々隅原周辺には足を入れたことなく、今回がはじめ

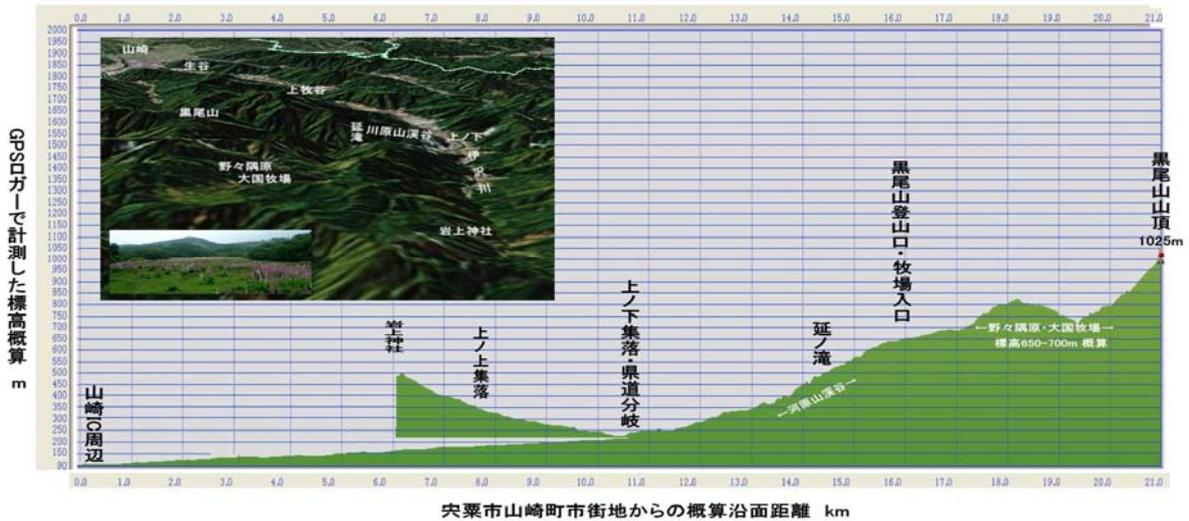
てである。一応舗装された県道で、交通標識とミラーはありますが、本当に車一台が通れる細い一本道が木々につつまれた溪谷沿いを奥へ奥へと登ってゆく。

まったく人家なく、カーナビからも道が消えてちょっと心配になりかけた時に、山奥に忽然と牧場が現れました。

途中 心配になりだした頃 道路際の溪谷にきれいな3段の滝 延ヶ滝が現れ、延ヶ滝の案内板が立っているのが目印。

そのまま ドンツキまで進むと大国牧場の入り口に到達する。そして、道路もここで終わりである。

(かつては さらに 牧場を抜けて 奥の波賀の町まで、山を通り抜けられたと聞くが今は牧場が県道の終着点である)



尖粟市山崎町市街地からの概算沿面距離と標高

野々隅原は集落のある広い谷筋から急な山を登った集落から離れた山中の原である



野々隅原 大国牧場はジキタリスの秘密の花園 2009. 6. 21.

10年ほど前から放牧をやめた牧草がジキタリスの群落に

「牧草で牛がひづめで牧草を引っかかないようになって 牛を入れなくなった牧草で一気に増えた」と後で大国牧場のご主人から聞きました

こんな山中にと思える今まで見たことのない牧場の牧草全面をおおうジキタリスの群落にビックリ。

しかも 誰もいない独り占めの景観。花に吸い寄せられるようにジキタリスの写真を撮りました。

花園の後方に黒尾山の稜線が細長く続いていて、その前方にジキタリスの咲く牧草地。牧草地とは言いながら 草木が茂っている場所も多く 砥峰高原ほどきれいにカーブ状の痕跡は見えないが、私には本当に良く似た地形に見えました。

たたら跡がこんなきれいな花園になって 現在に生きていることに感激でした。

帰り道 伊沢川が流れ下る国道249号の谷の出口生谷の温泉施設前で、思いがけず大国牧場のニュージャージ種の牛乳から作ったジェラードを売っておられ大国牧場のご主人にもお会い、おいしいジェラードも食べました。

「牧場中央の山際にたたら跡があり、鉄滓があちこちに散在。牧場の道の補修にこの鉄滓を敷いたことがある」とお聞きしました。また、ジキタリスの花園の所以については「10数年前 前代の牧場主がジキタリスを牧場に撒いて 花を咲かせたのが、始まり。

牧草に牛がいる時には 牛のヒズメで押し付けられ、あまり 広がって行かなかったが、牛の放牧を制限し始めた10年ほど前から、牛の入れぬ牧草にジキタリスの群落が始まり、今のようになっていった」という。

車が一台通れるかどうかの細いドンツキの環境で 地元の黒尾山へのハイキングの人たちにしか余り知られていない今の環境がこの花園の環境を維持してそれに満足しているとも・・・。



大国牧場のご主人 生谷 温泉施設前で



◆ 県道429号の終着点 岩上神社へ

広い谷筋に戻って、県道429号の終着点岩上神社まで遡って引返してきました。

巨大な夫婦杉がそびえる谷筋の山の中腹に杉の巨木につつまれた岩上神社。境内には巨岩の磐が座し、祭神は大己貴命と素戔鳴尊。すぐ横の溪谷沿いでは大きな巨木の根がみんな岩を抱きかかえている。もう 雰囲気からしてここも古くからのたたら街道の道筋だろう。谷筋には近世のたたら鉄山が会ったと聞きました。

道は車一台やっと通れる巾に狭め、奥の波賀町・千種へと続いている



県道429号線のドンツキ 岩上神社 2009. 6. 21.

また、この県道沿いの緑の中に、葉の先の方が白く変色しているのが見える。

夏至の頃に咲く「半夏生」か??? と家内が言う

でも、どうも おかしいらしい。「半夏生」は草。でも 目の前にあるのは木。

調べると「マタタビ」の木、これが「マタタビか・・・」と。

この木の実・葉・茎の匂いに神経を刺激されて猫が酔っ払うという「マタタビ」でした。

真偽は良く知りませんが、花がすべて葉の裏側に咲くので、葉に隠れてしまうので、花が咲くと、葉の先端部が白く変色して、虫に花が咲いたことを伝えるのだそうだ。



葉の先を白く変色させ 半夏生とまちがえた「マタタビ」 2009. 6. 21.

谷筋を引返す途中 上ノ上の集落で これもまた珍しい黄色い花をつける「紅花」の畑を見つけました。

町興しの観賞用に山形から種を取り寄せて栽培しているという。

紅花はひとつの茎についている花が一気に咲くのではなく、親→子→孫と一つ一つ時期を変えて咲くので、1本の茎に色の濃い紅色の花 黄色 まだ蕾の緑が混じる。染料にするには したがって とげのあるこの花の収穫には 色を見ながら摘まね場ならなかったのである。染料を採る山形の最上紅花とともにトゲを軽減改良した観賞用の紅花も多く栽培されているという。名前は知っていても中々見れない花 これにも うれしくなりました。



最上紅花
紅花にはトゲがあり、観賞用にはトゲが改良したものもある
紅花は1つの茎につく花が一気に咲くのではなく
順番に親→子→孫と時期をずらせて咲くので
1つの株には色の濃い紅・黄色・また蕾の緑と花の色が異なる

上ノ上集落で栽培されていた紅花 2009. 6. 21.

ところで 伊沢川が北から南へ流れ下るこの広い谷筋の集落の名にビックリ。山崎の市街地に近い南から「下町」そして「上ノ下」「上ノ上」の名が標識に記され、山深い郷であることが、地名にも現れている。

「上ノ」はどう読むのだからか・・・「上の」・「上野」などではなく「上ノ」名のである。多分 古くからある郷地名なのであろう。

「野々隅原」の地名の「野々」も製鉄関連地名と聞きましたが、良く知りません。

中国山地が続く山の中ですが、さすが古代から開けた製鉄地帯 その地名にも何か古代からの流れを感じる。



「上ノ」の珍しい集落地名 どう読むのだろうか・・・

◆ 宍粟市 黒尾山 北西山麓 野々隅原 大国牧場 Walk まとめ

- 奥播磨かつてのたたら郷の牧場に 「ピンクの花・ジキタリス」の花園 -



ほんとうに素晴らしい野々隅原ジキタリスwalkでした。 来年も是非 ジキタリスの初夏に訪れたい。

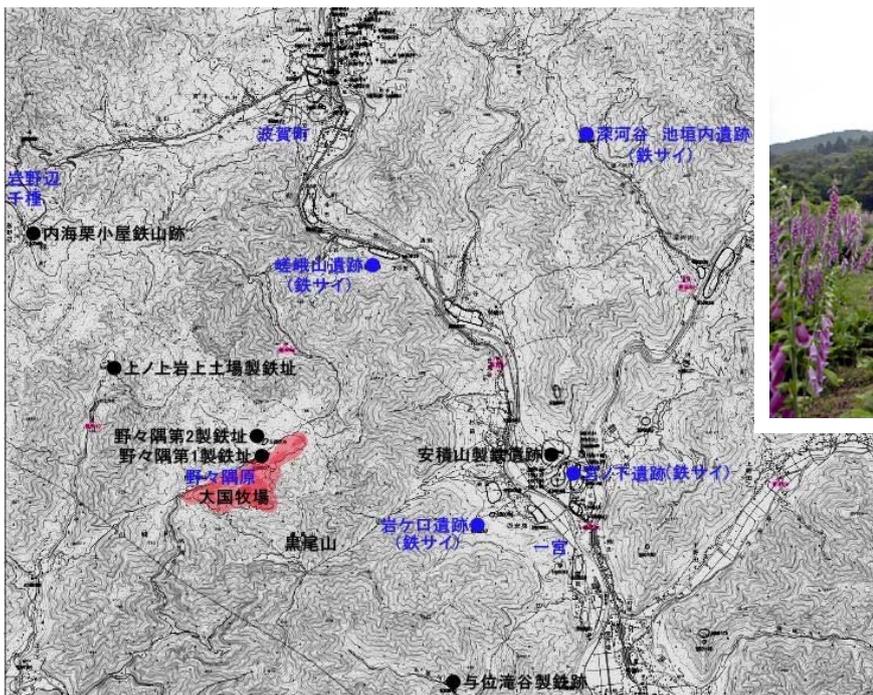
また、黒尾山の頂上からは遠く播磨灘まで見晴らせると聞きましたので、次はしっかりと黒尾山の頂上に登って かつてのたたら郷 周囲の山々ならびにこの野々隅原の地形を確り 眺めたい。鉄滓探しもやりたいし、野々隅原からそのまま北へ波賀町に降りて、岩鍋（岩野辺）・千種のたたら街道もたどってみたいと思っている。

たたら郷にひそかに咲くジキタリスの花園がこのまま 守られることを願いながら 帰ってきました。本当に見たこともない素晴らしいピンクの花の景観 教えていただいた家内の友人には感謝です。

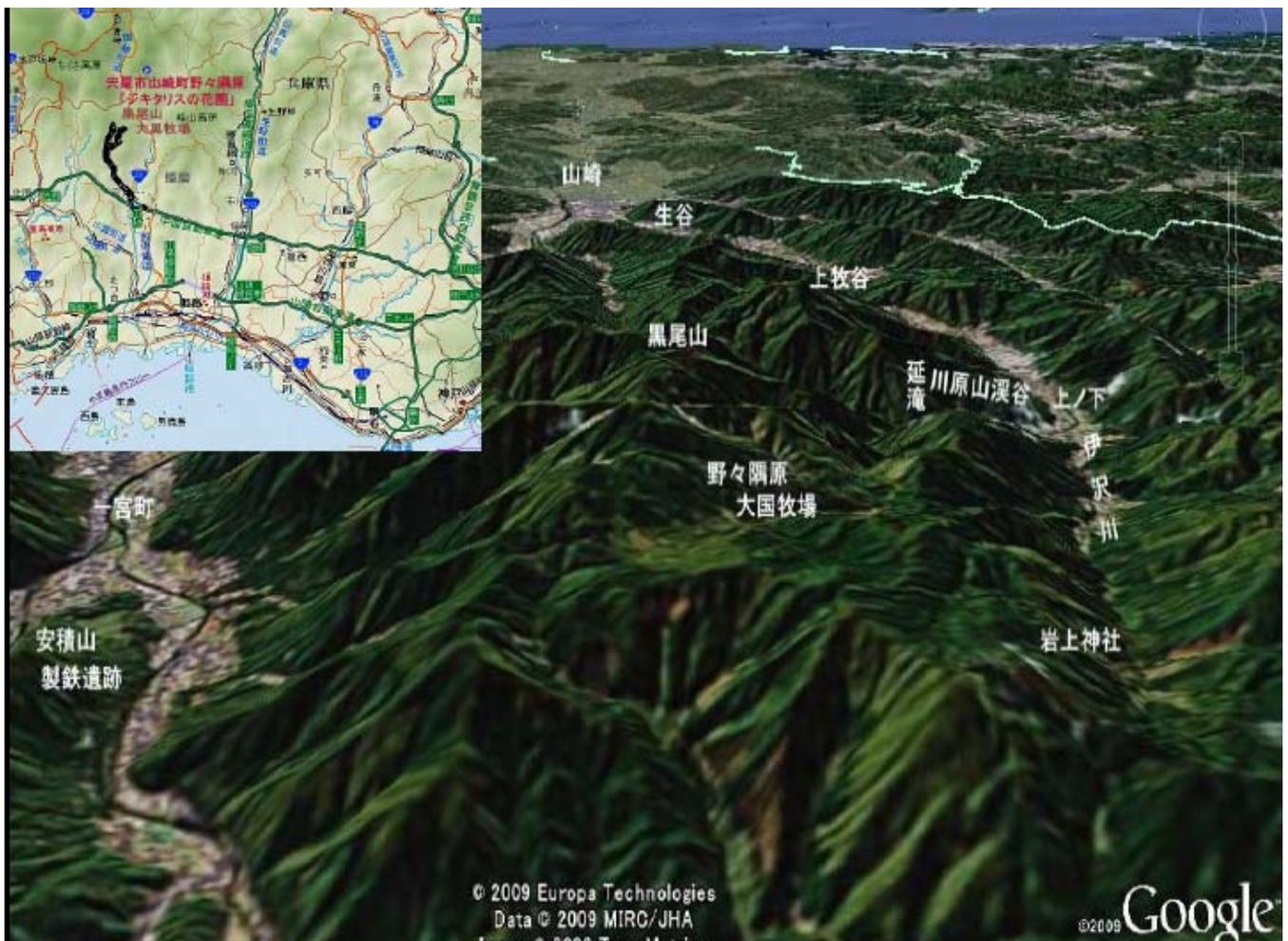
なんせ 秘密の花園 大黒牧場のご主人も今の環境をそのまま守りたいといっておられたこともあり、ルートなど詳細には記していませんが、各自お調べください。

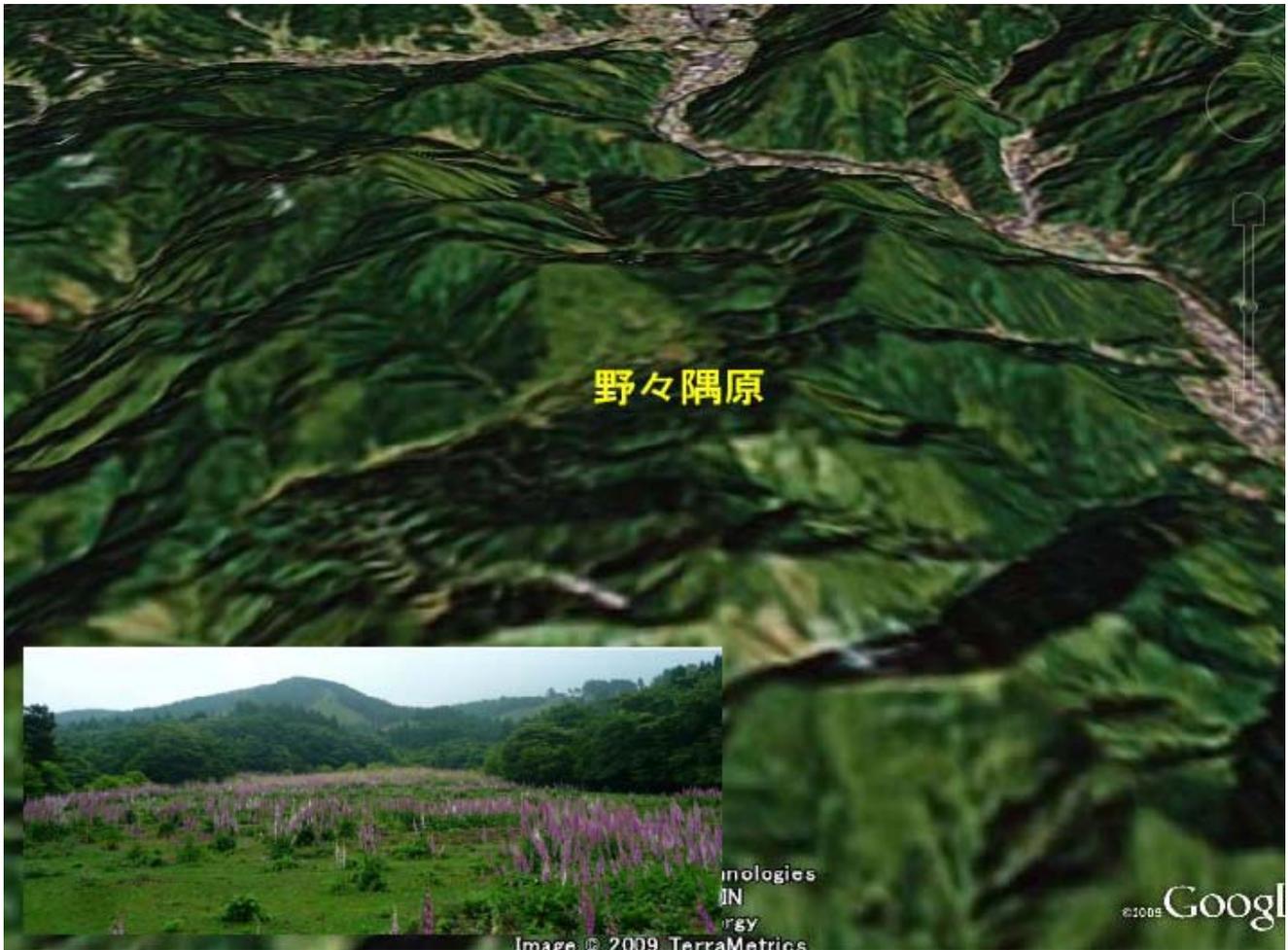
また 県道とはいいながら 川原山溪谷を遡る道は車一台やっと通れる道で、案内標識もありませんのでご注意ください。行き着く先が野々隅原の牧場の入口です。

2009. 6. 25. by Mutsu Nakanishi



かつての たたらの郷 尖栗市 野々隅原 大国牧場
 黒尾山の北西山中腹の原に広がる牧場はジキタリスの花が咲き乱れる花園
 山が連なる山奥の山の中腹部に
 なぜ こんな広い原が・・・ また 牧場が ...
 たたら跡に違いないと。
 今まで見たことのない 素晴らしい たたら跡の景観でした







奥播磨 かつてのたたら郷の牧場に
ジキタリス 「ピンクの花の秘密の花園」を訪ねる

宍粟市 黒尾山 北西山麓 野々隅原 太国牧場 Walk

2009. 6. 21. by Mutsu Nakanishi

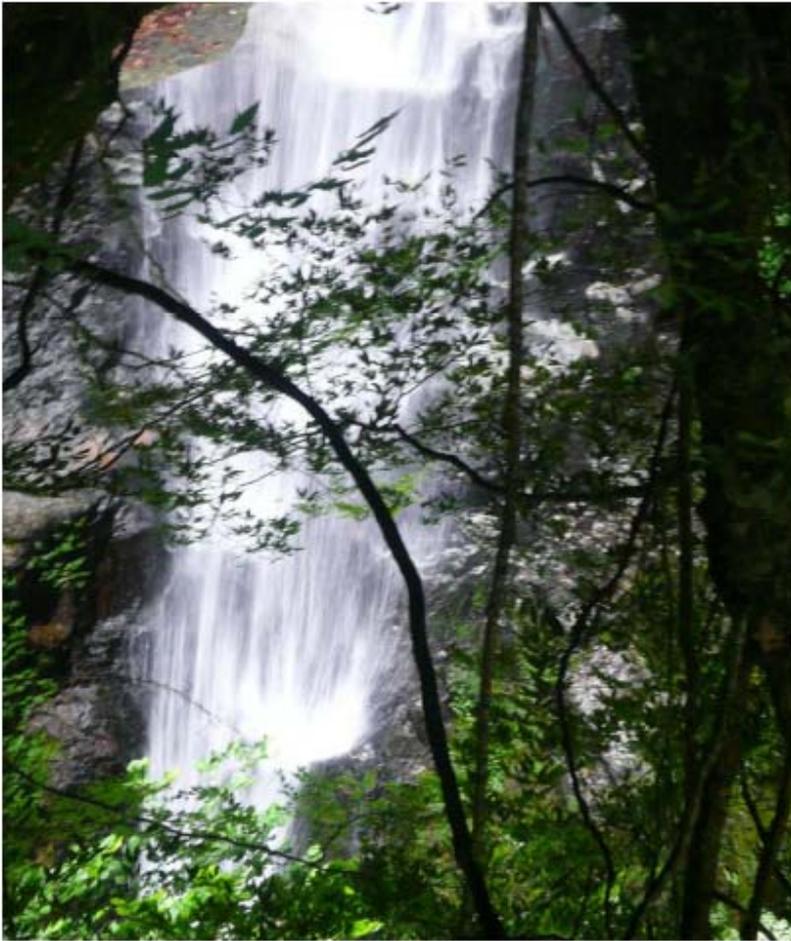




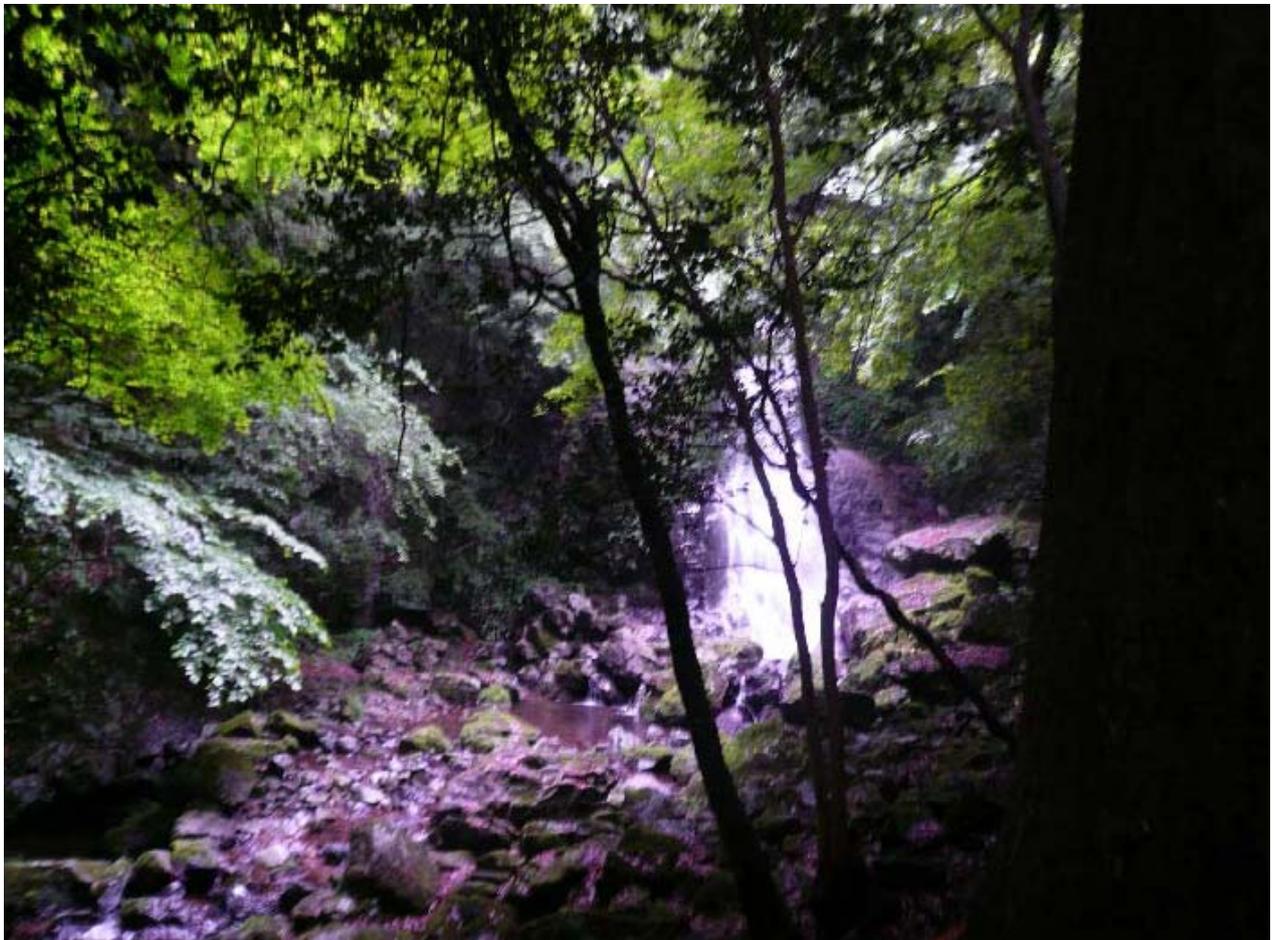
野々隅原への入口 尖栗市山崎 上/下集落





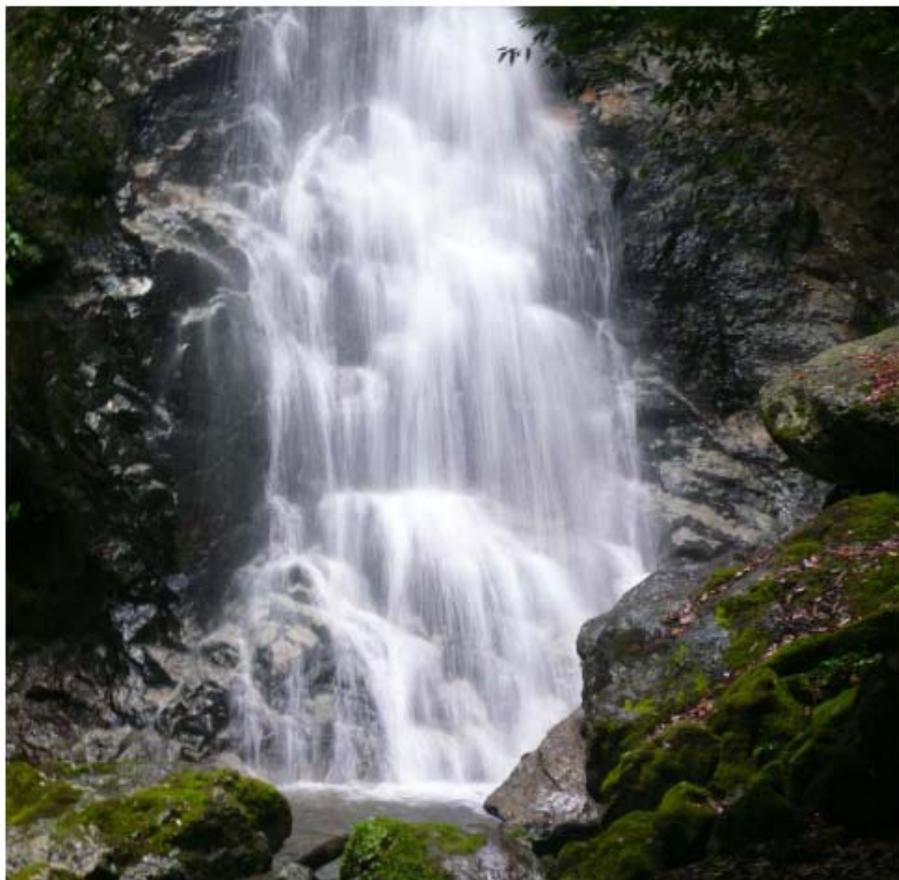


川原山溪谷を流れ下る川原山谷川にかかる落差20m 3段の滝「延ヶ滝」





川原山溪谷を流れ下る川原山谷川にかかる落差20m 3段の滝「延滝」



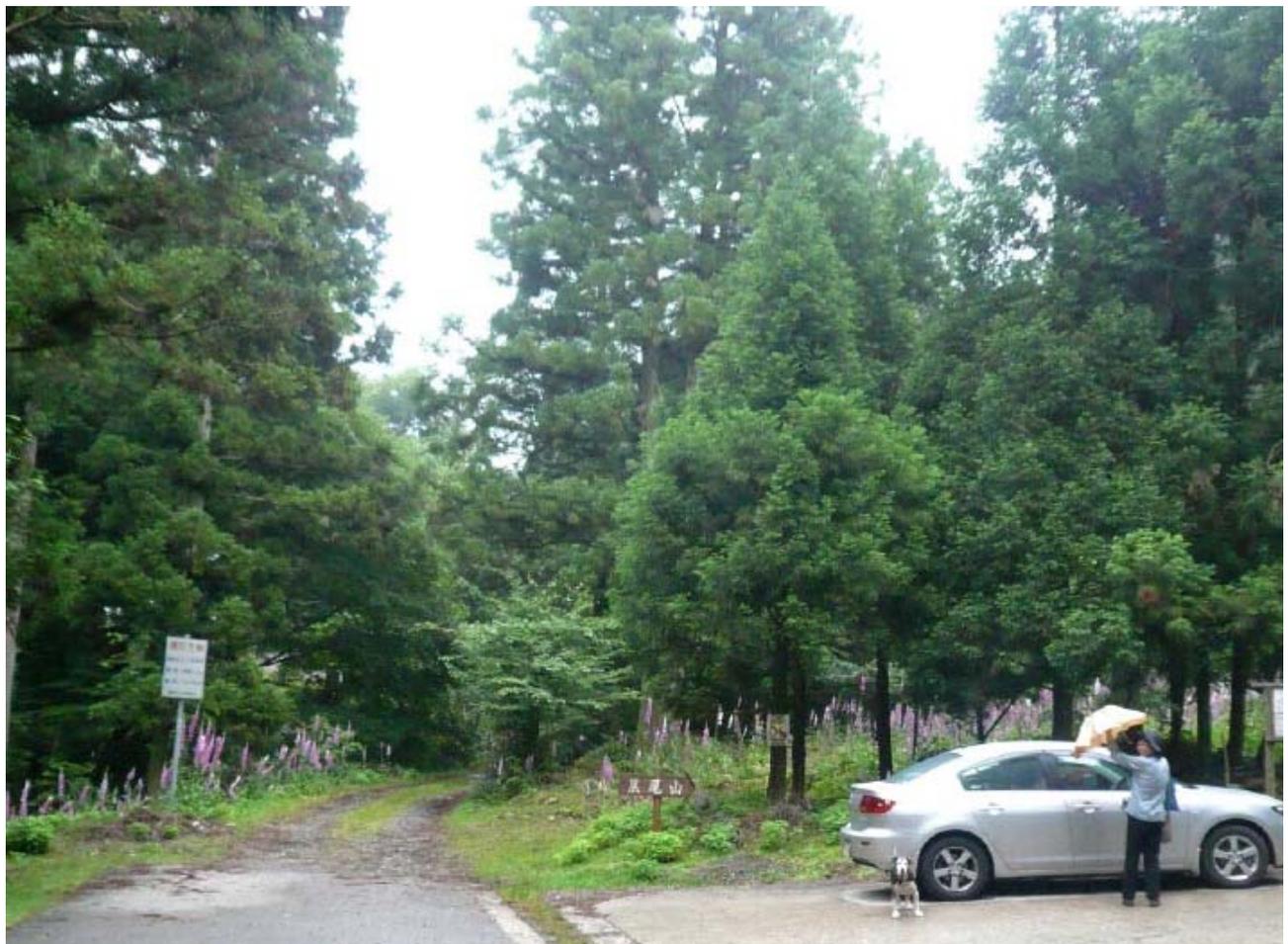
川原山溪谷を流れ下る川原山谷川にかかる落差20m 3段の滝「延滝」



険しい山中に 忽然と現れる雄い県道の終着点 野々原 大國牧場入口周辺 (黒尾山登山口) 2009.6.21.
人っ子一人いない森の中 猟師の放ったビークル犬が一匹 出迎えてくれた

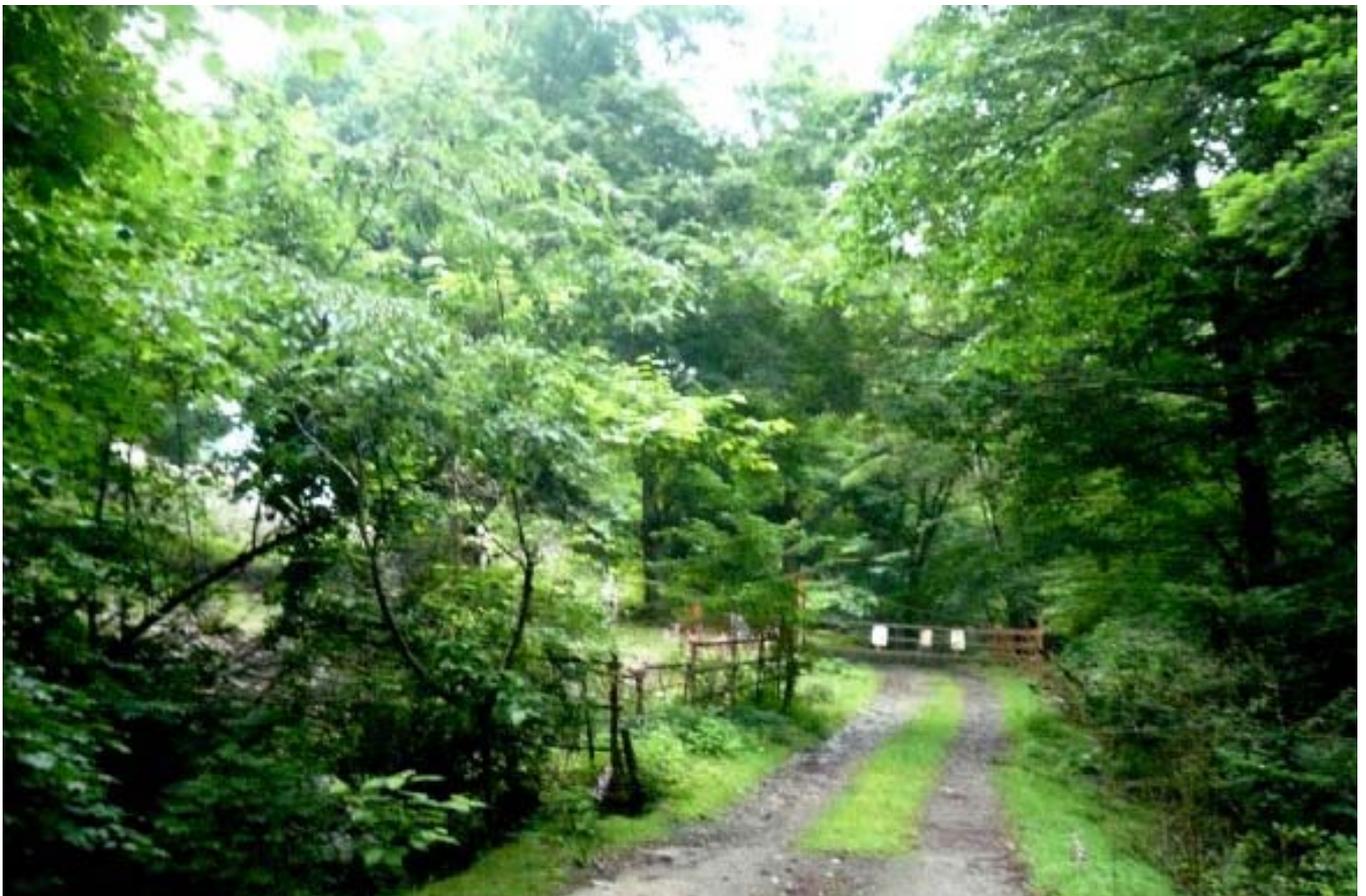


周りを山に囲まれた森に包まれ、大國牧場の洋館 県道の終着点が大國牧場の入口
山中の森の中に 突然現れた牧草地 今 シキタリスの花が丘陵地一杯に咲き乱れていました
こんな誰もいない山中に? と思う シキタリスの群落 秘密の花園です 2009.6.21.





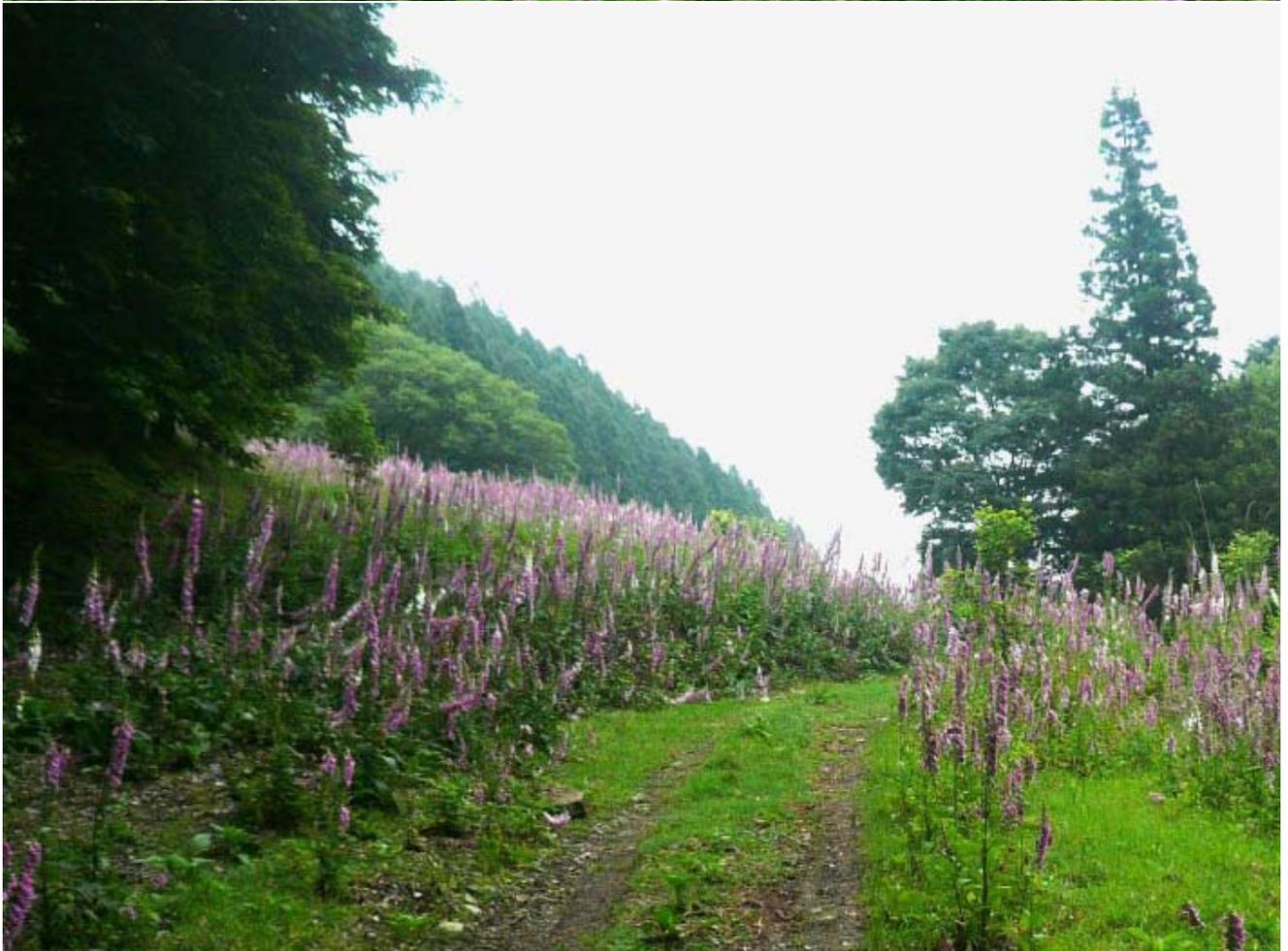
山の中 静かな森の木々につつまれた大国牧場



ジキタリス「ピンクの花の秘密の花園」 大国牧場 花のwalk 2009.6.21.





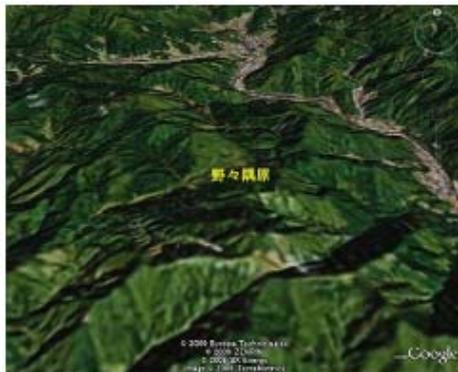






















葉の先を白く変色させ 半夏生とまちがえた「マタタビ」

山裾の谷筋に 葉の先の方が白く変色している。夏至の頃に咲く「半夏生」か？ と家内が言う

どうも おかしいらしい。「半夏生」は草。でも 目の前にあるのは木。

調べると「マタタビ」の木 この木の実・葉・茎の匂いに神経を刺激されて猫が酔っ払うという「マタタビ」でした
真偽は良く知らぬが、花がすべて葉の裏側に咲くので、葉に隠れてしまうので、花が咲くと、葉の先端部が白く変色して、
虫に花が咲いたことを伝えるのだそうだ。





最上紅花



タキイ改良の紅花

紅花にはトゲがあり、観賞用にはトゲが改良したものもある
紅花は1つの茎につく花が一気に咲くのではなく
順番に親一子一孫と時期をずらせて咲くので
1つの株には色の濃い紅・黄色・まだ蕾の緑と花の色が異なる





伊沢川が流れ下る谷の出口 生谷の温泉館前で
 大国牧場のニュージャージ牛乳を売る大国牧場の大国さんに運よく出会えた。
 「牧場中央の山際にたたら跡があり、鉄滓があちこちに散在。牧場の道の補修にこの鉄滓を 敷いたことがある」とお聞きしました。

「なぜ あんな山中の牧場に シキタリスの花園ができたのか??」の疑問には
 「10数年前 前代の牧場主がシキタリスを牧場に撒いて 花を咲かせたのが始まり。
 牧草地に牛がいる時には 牛のヒズメで押し付けられ、あまり広がって行かなかったが、
 牛の放牧を制限し始めた10年ほど前から、その牧草地にシキタリスの群生
 が始まり、今のようになっていった」という。

車が一台通れるかどうかの細いドンツキの環境で 地元の黒尾山へのハイキングの人たちにしか
 余り知られていない今の環境に満足しているとも・・・。

